

データからみたみやぎの健康 概要版

- 平成30年度版 -



宮城県保健福祉部

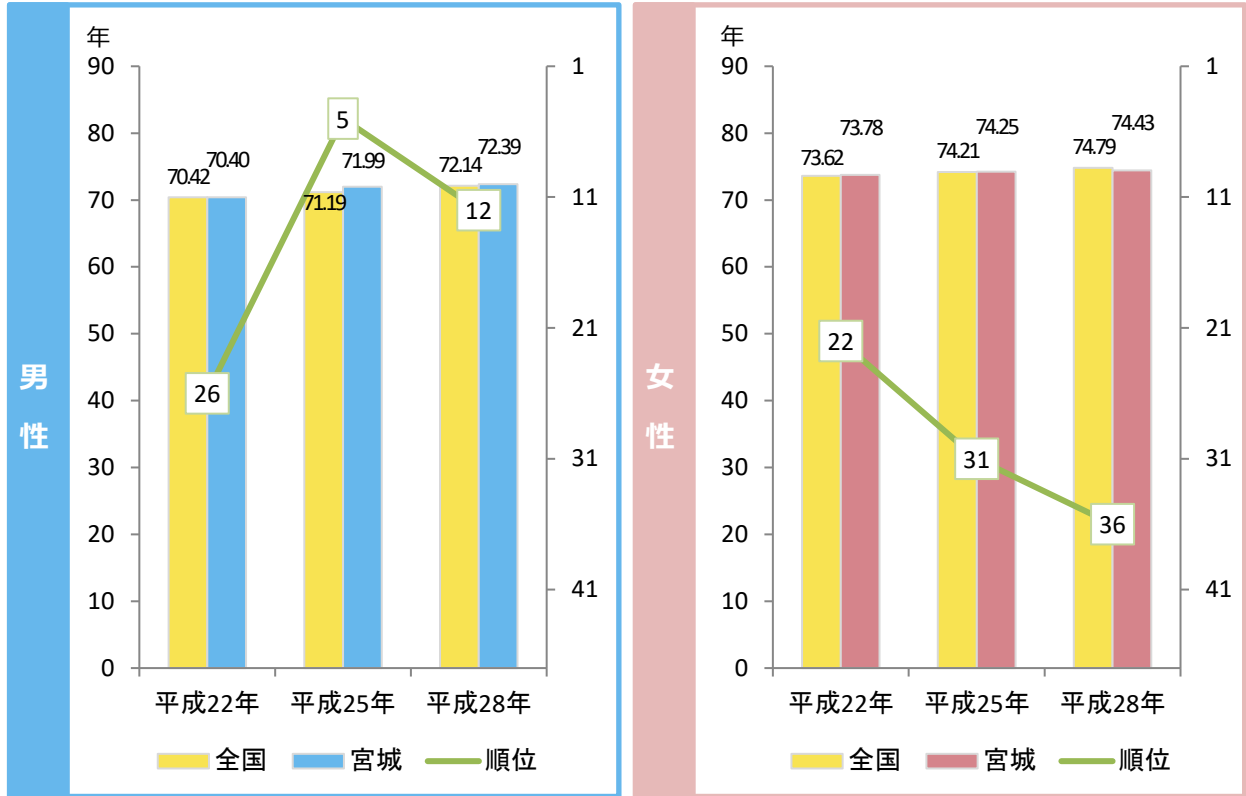
平成31年3月

健康寿命

【都道府県の状況】

- 宮城県男性の健康寿命は平成22年からの伸びが全国を上回り、全国12位。
- 宮城県女性の健康寿命は平成22年からの伸びが全国を下回り、全国36位。

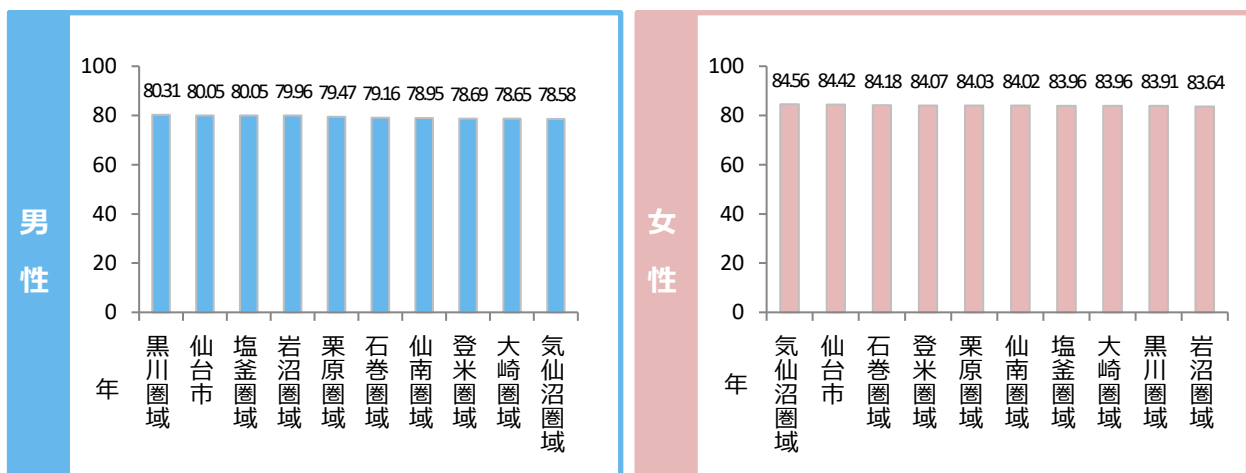
健康寿命の伸び（全国との比較）



資料) 厚生科学研究班算出「日常生活に制限のない期間の平均」

【圏域別の状況】

圏域別健康寿命（平成28年）

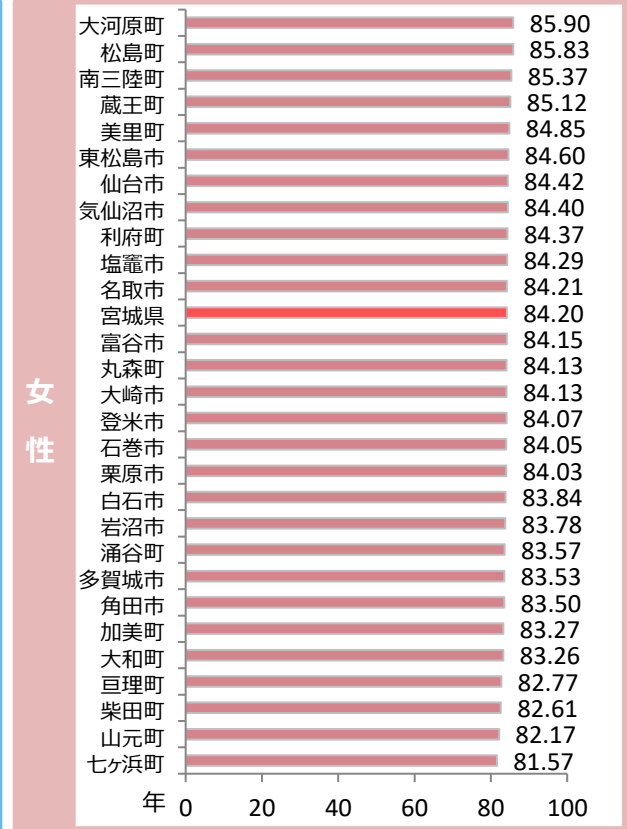
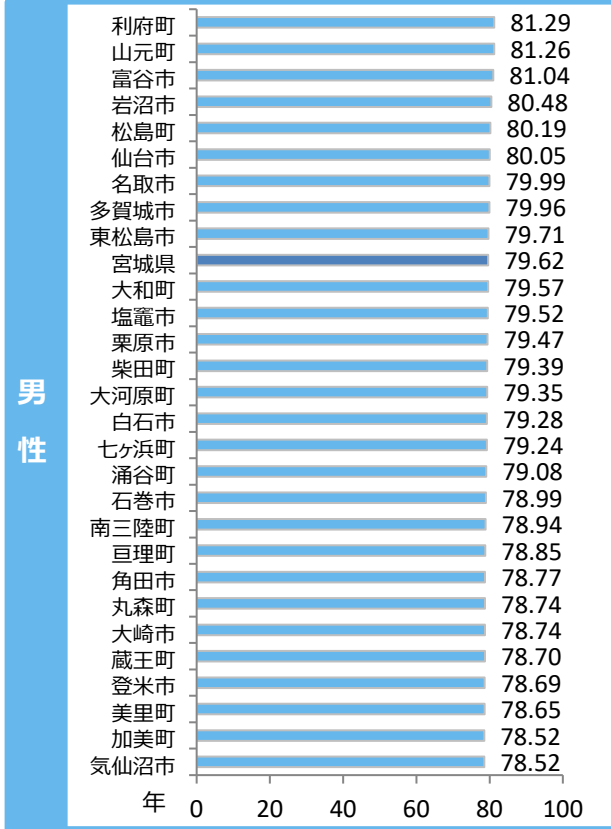


資料) 厚生科学研究班「健康寿命における算定プログラム」に基づき算出

注) 圏域別・市町村別健康寿命は「要介護認定2以上の認定者数」をもとに算出しているため、上記の「日常生活に制限のない期間」をもとに算定した都道府県の健康寿命とは比較できません。

【市町村別の状況】

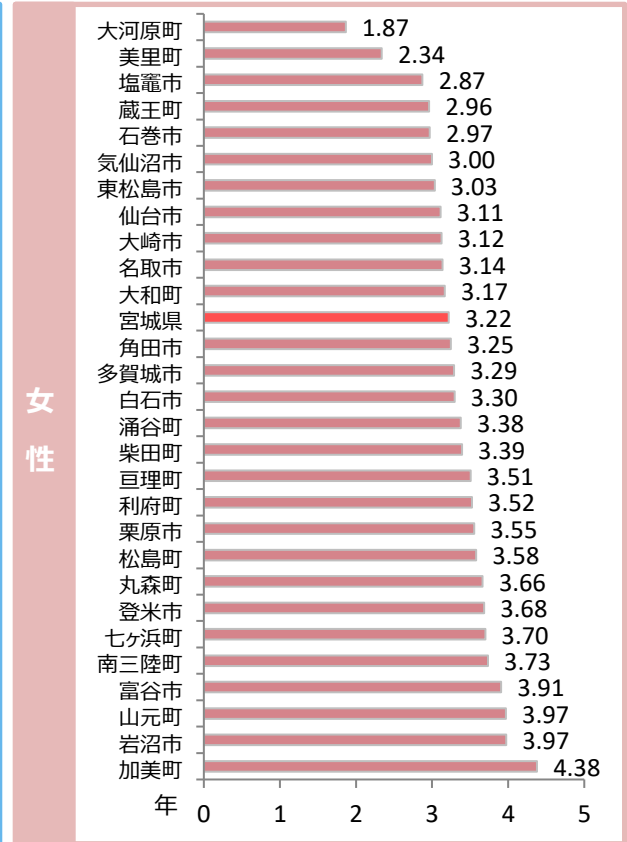
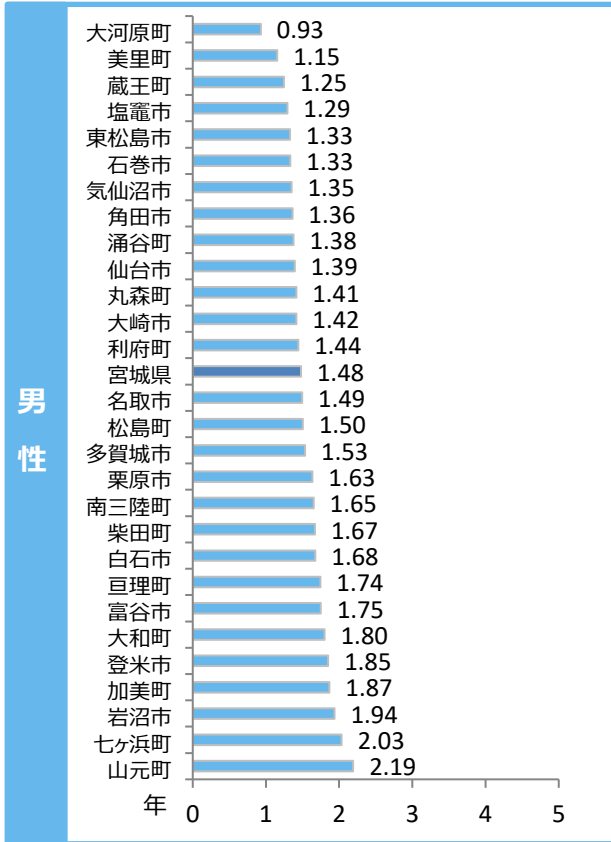
市町村別健康寿命（平成28年）



注) 人口1万2千人未満の市町村はばらつきが大きいので、参考値として掲載。

参考値	七ヶ宿町	村田町	川崎町	大郷町	大衡村	色麻町	女川町
男性	76.63	79.79	75.80	78.94	81.39	77.52	79.50
女性	88.46	84.78	83.93	84.74	83.50	81.48	84.18

不健康な期間（平均寿命－健康寿命）（平成28年）



注) 人口1万2千人未満の市町村はばらつきが大きいので、参考値として掲載。

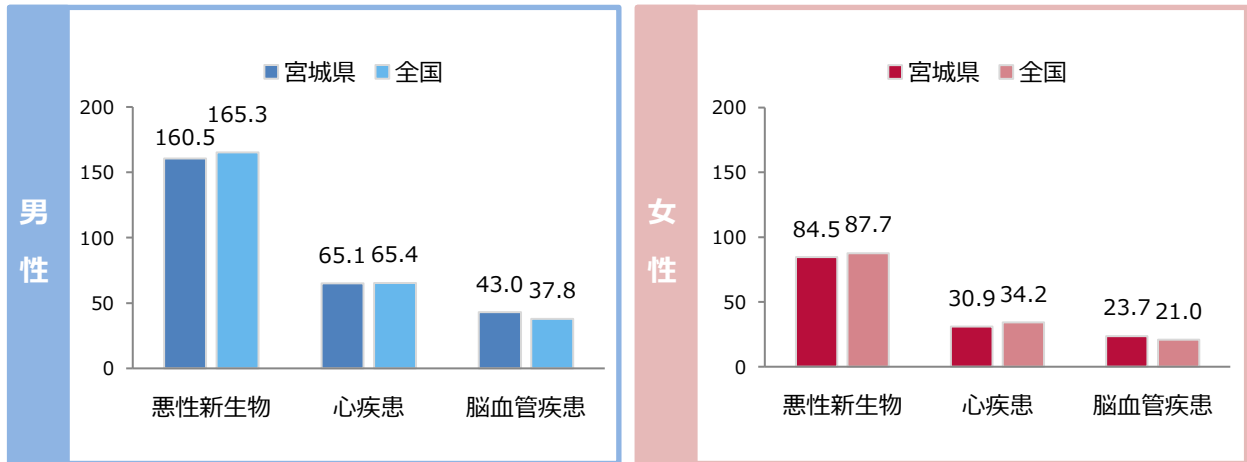
参考値	七ヶ宿町	村田町	川崎町	大郷町	大衡村	色麻町	女川町
男性	1.61	1.76	1.45	1.68	1.64	1.50	1.60
女性	3.40	3.71	3.29	3.16	3.32	2.93	3.90

死亡の状況

【都道府県の状況】

○宮城県の主な死因の年齢調整死亡率は、脳血管疾患のみ全国より高く、男性全国**13**位、女性は**11**位。
（高い順）

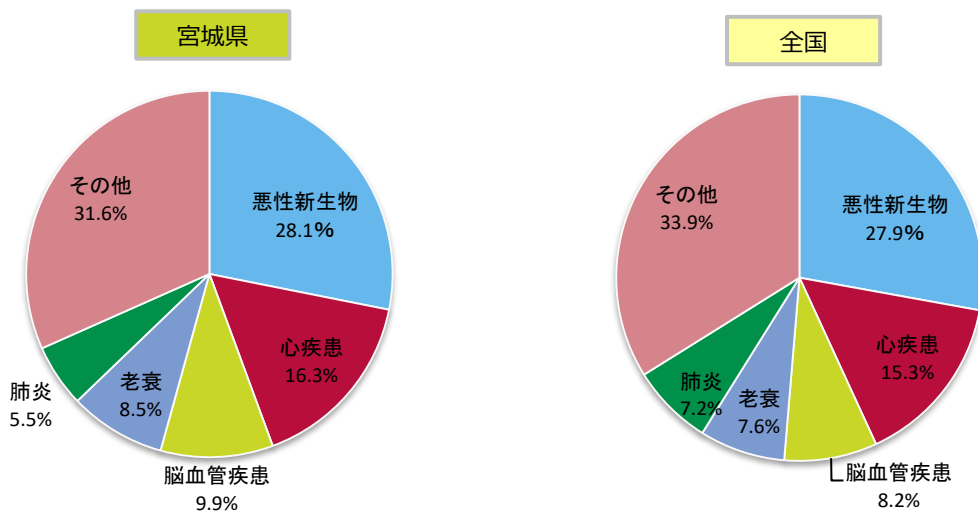
主な死因の年齢調整死亡率（人口10万対）（平成27年）



資料) 人口動態統計特殊報告 (H29)

○宮城県の死亡順位は、1位悪性新生物、2位心疾患、3位脳血管疾患、4位老衰、5位肺炎の順。
全国でも同様の順。

死因別死亡割合（平成29年）

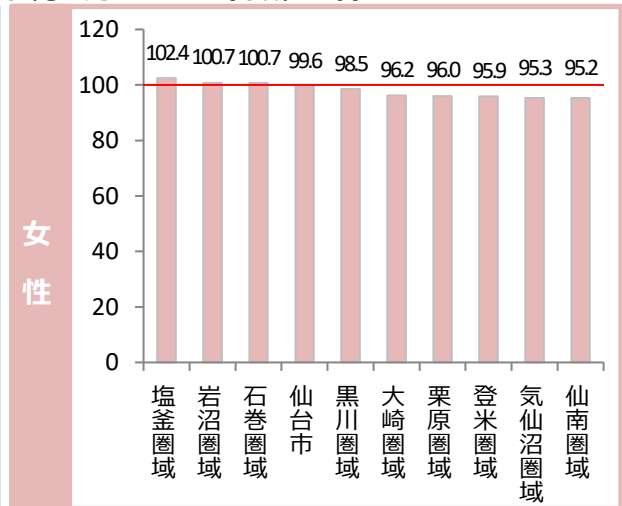
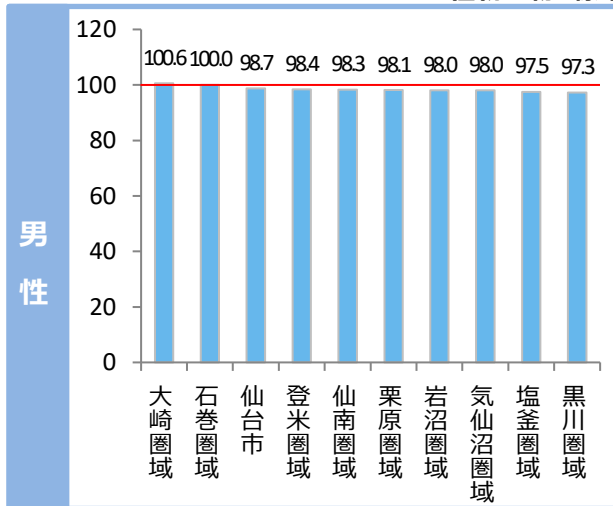


資料) 人口動態調査 (H29)の死亡数から算出

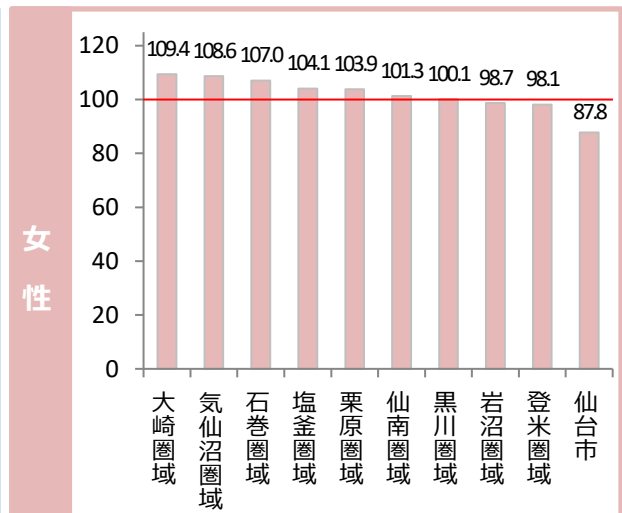
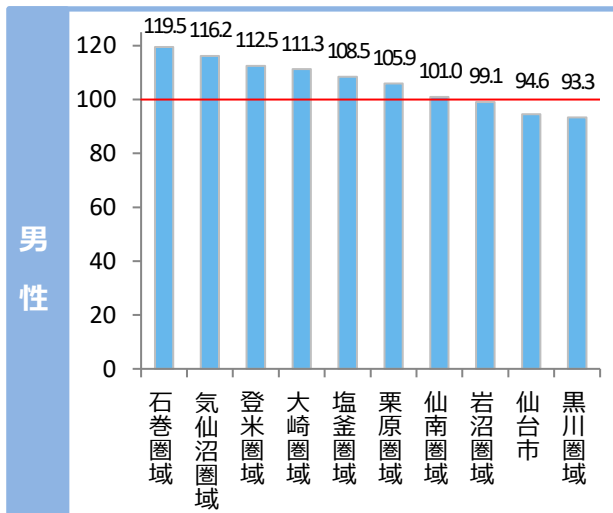
【圏域別の状況】

悪性新生物 標準化死亡比EBSMR (平成28年)

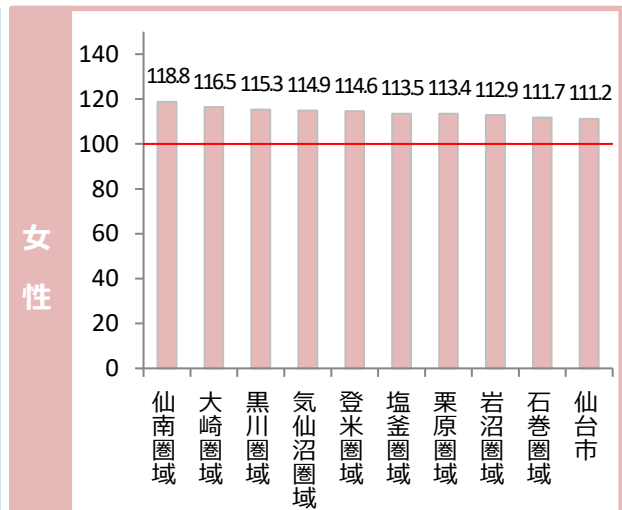
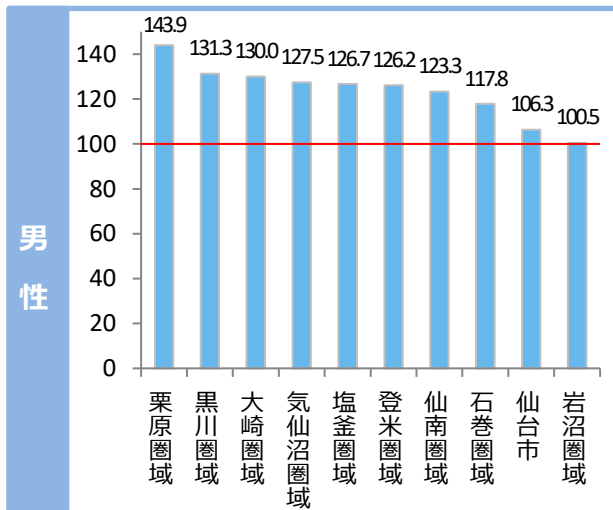
※全国=100



心疾患 標準化死亡比EBSMR (平成28年)



脳血管疾患 標準化死亡比EBSMR (平成28年)



■EBSMR (SMR経験的ベイズ推定値) について

年齢構成の差を取り除き地域の比較を行うための指標として、標準化死亡比 (SMR) がありますが、小地域間の比較や経年的な動向を標準化死亡比で見ると、死亡数が少ないと数値が大きく変動してしまいます。そのため、観測データ以外にも対象に関する情報を推定に反映させることが可能な「ベイズ推定」を使用しました。全国を100として相対値で表したもので、EBSMRが100より大きい場合、全国平均と比べて出現割合が高いことを示しています。なお、EBSMRの推定については、最尤法を用いています。

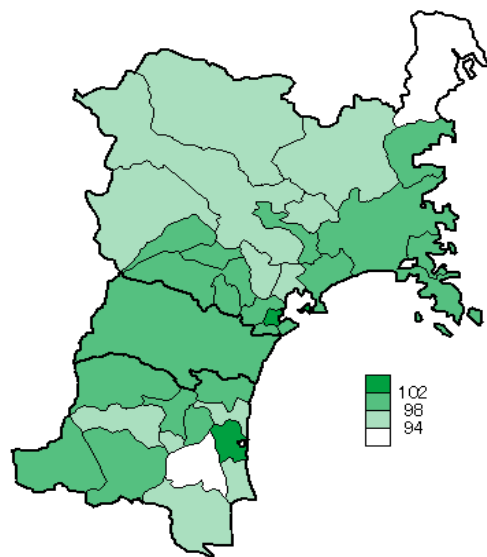
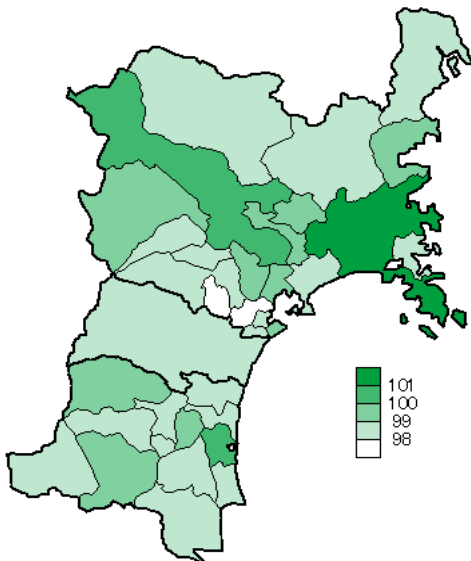
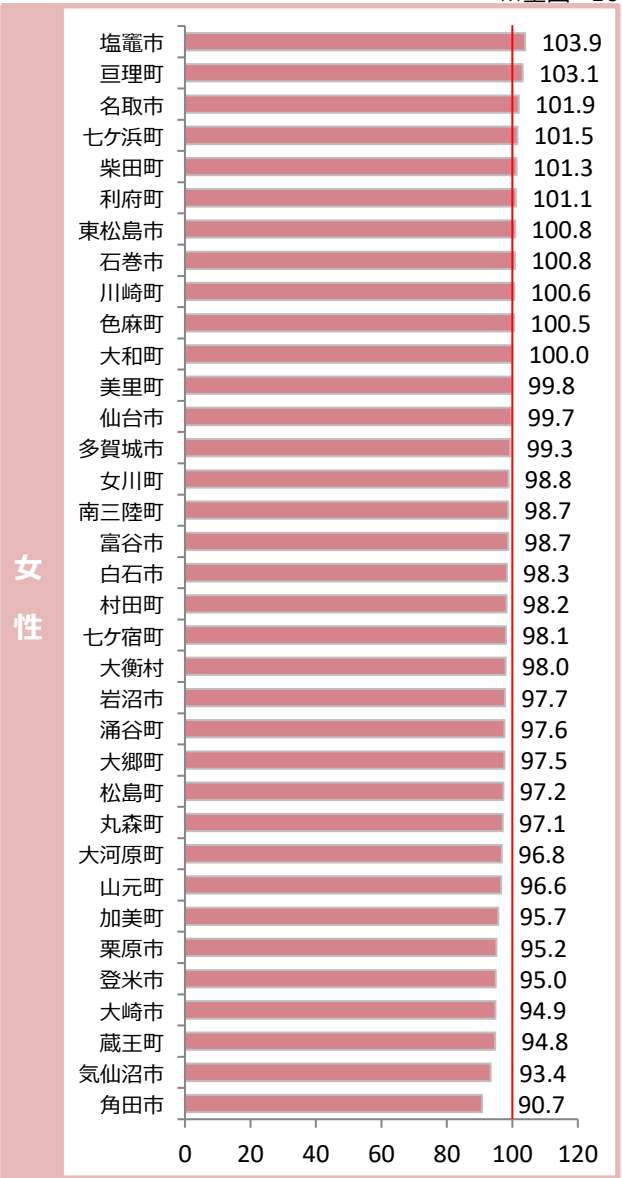
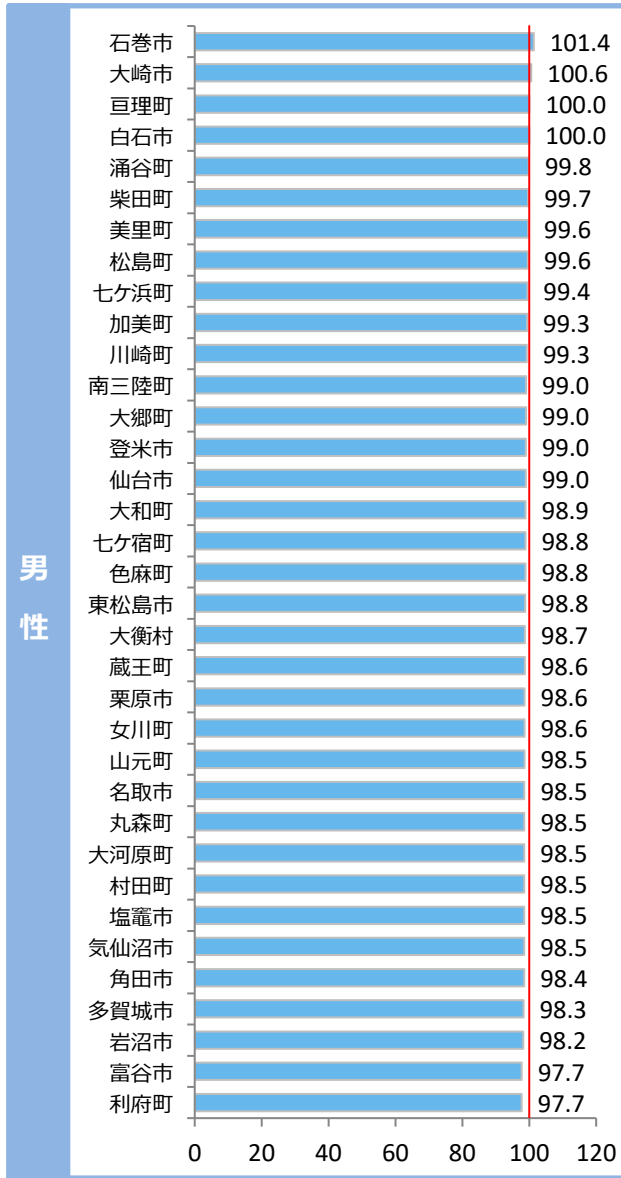
計算：Estimator for Poisson-Gamma model (国立保健医療科学院技術評価部提供)

【市町村別の状況】

○悪性新生物 標準化該当比EBSMRの最も高い市町村は、男性は石巻市、女性は塩竈市。

悪性新生物 標準化死亡比EBSMR(平成28年)

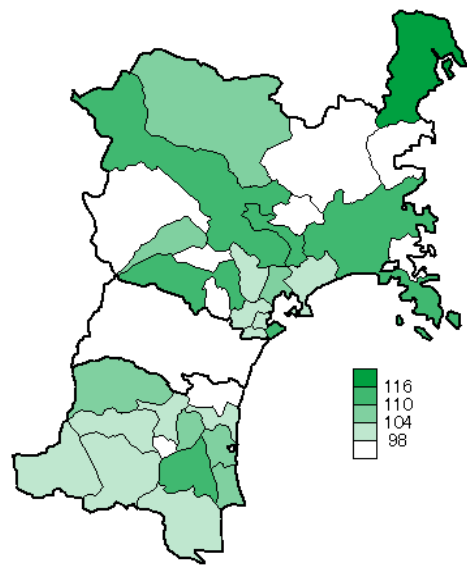
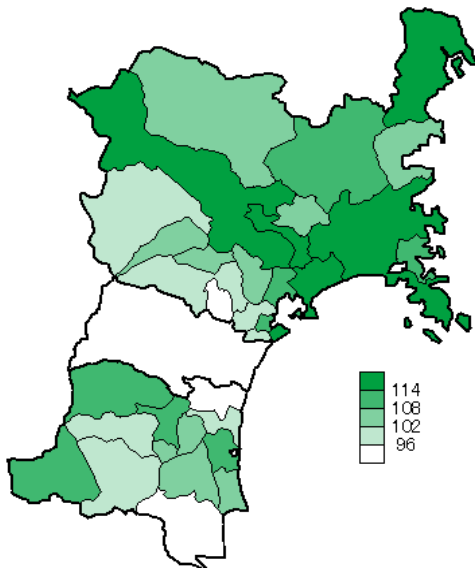
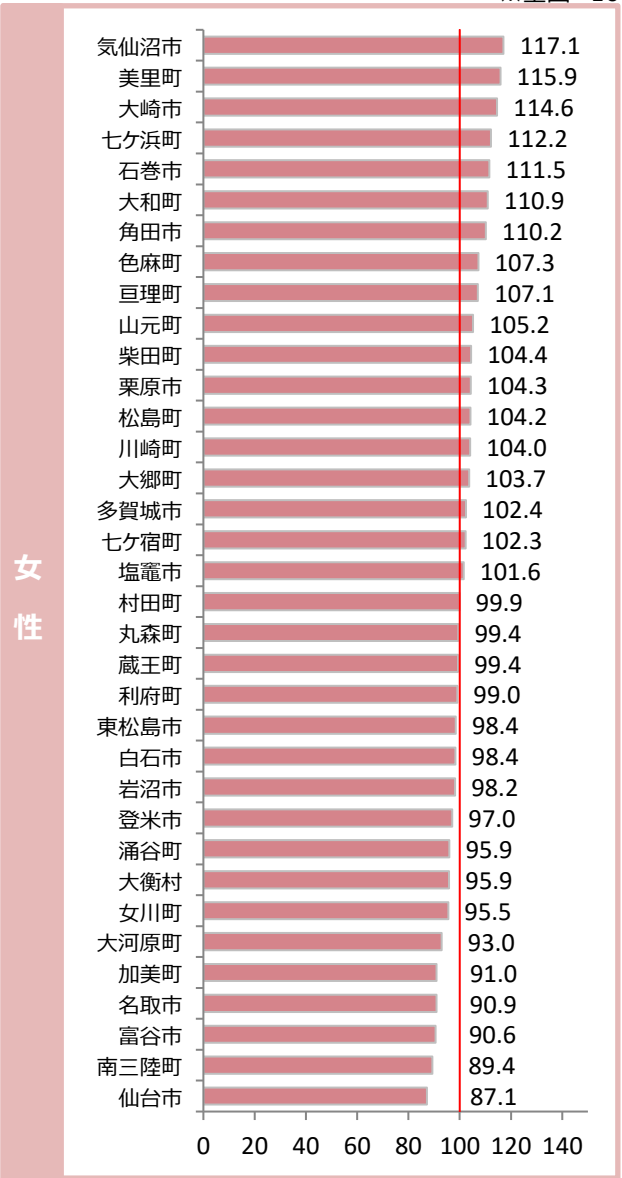
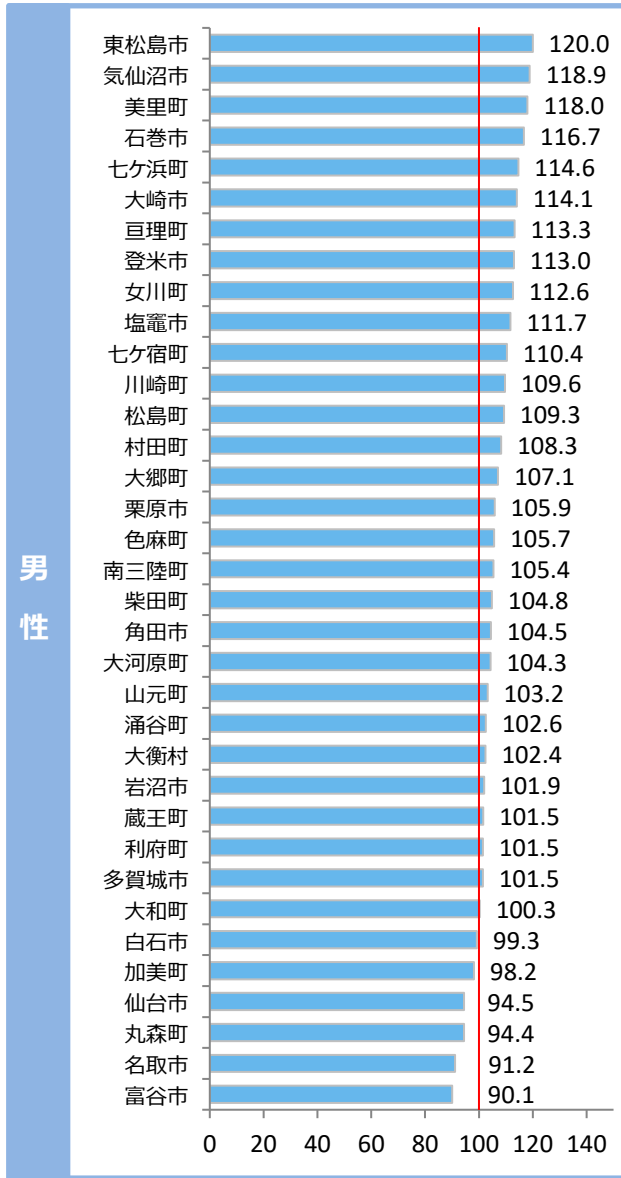
※全国=100



○心疾患 標準化該当比EBSMRの最も高い市町村は、男性は東松島市、女性は気仙沼市。

心疾患 標準化死亡比EBSMR (平成28年)

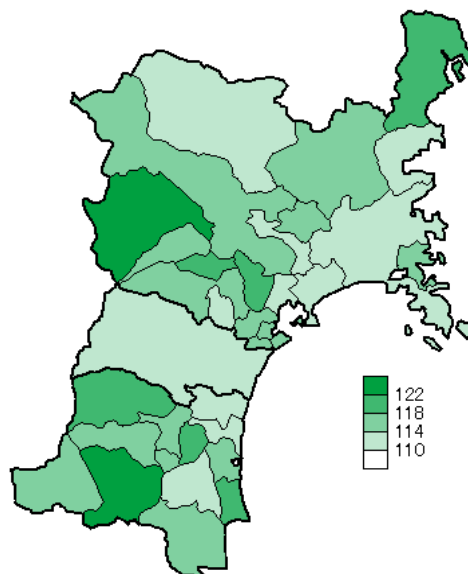
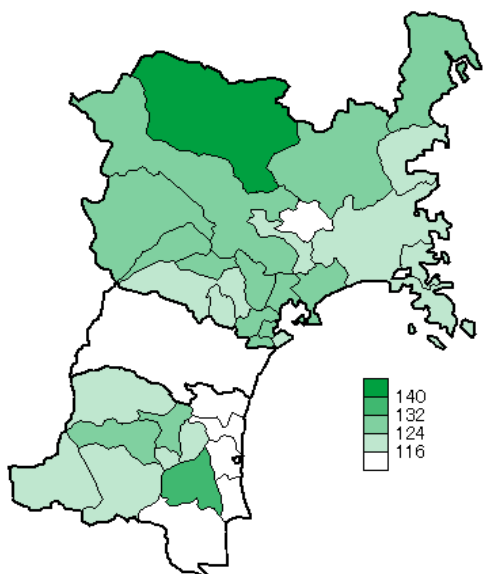
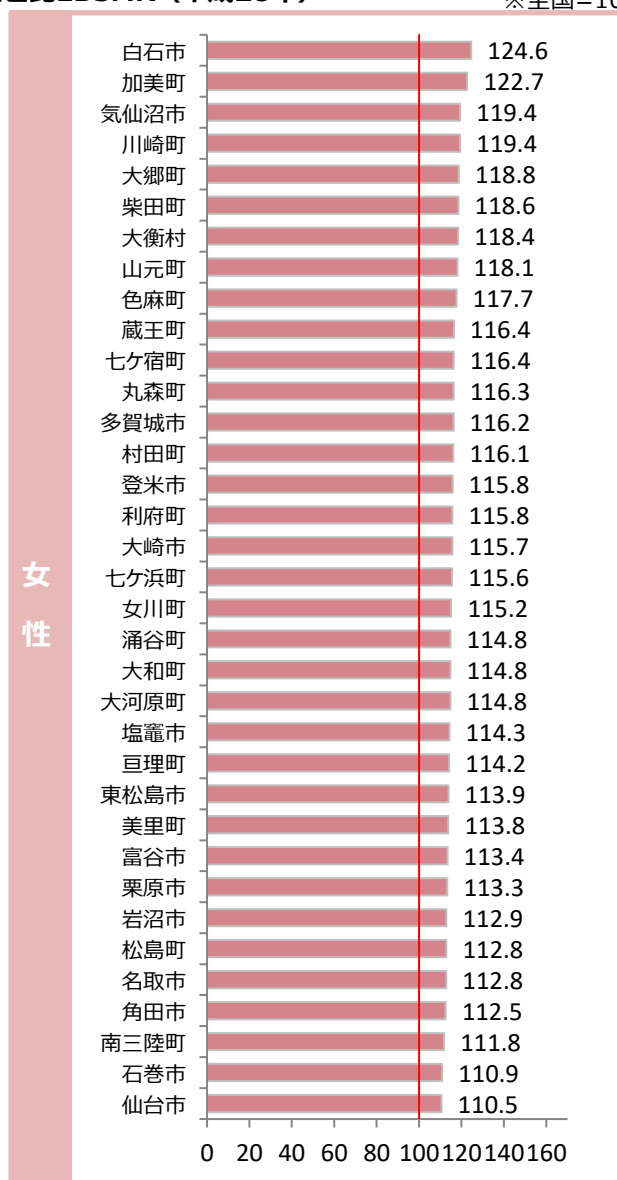
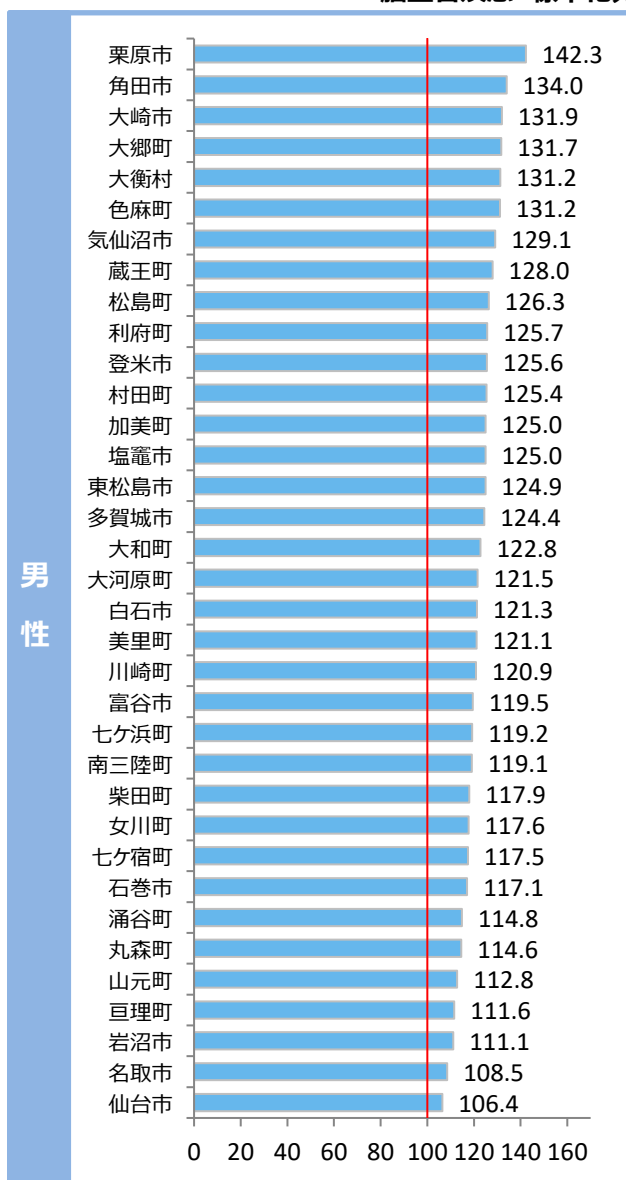
※全国=100



○脳血管疾患 標準化該当比EBSMRの最も高い市町村は、男性は栗原市、女性は白石市。

脳血管疾患 標準化死亡比EBSMR (平成28年)

※全国=100

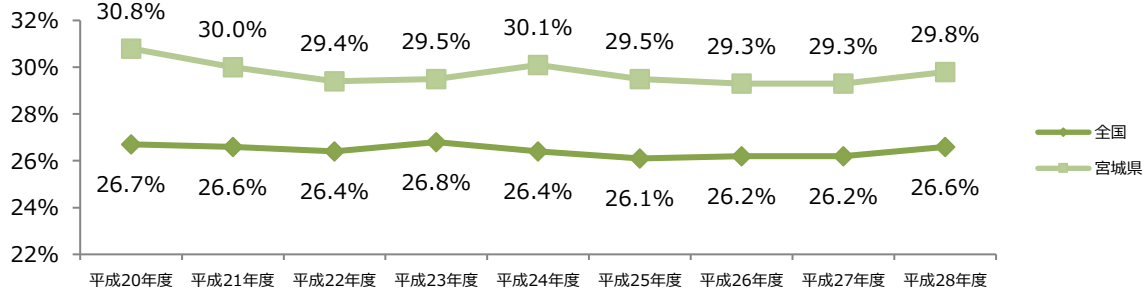


メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合

【都道府県の状況】

○宮城県はメタボリックシンドローム該当者・予備群の割合は、全国より高めに推移し、平成20年度から6年連続で全国ワースト2位、26、27、28年度はワースト3位。

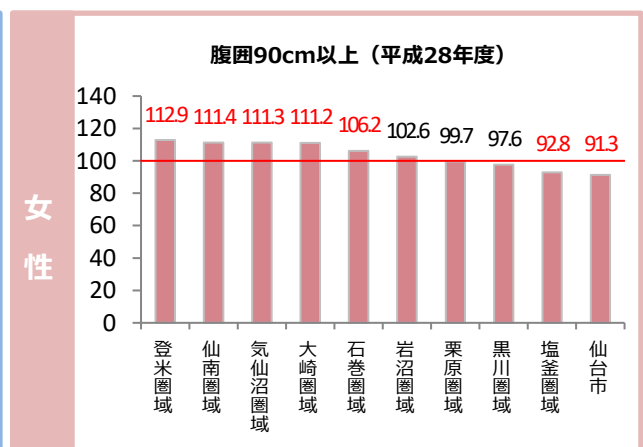
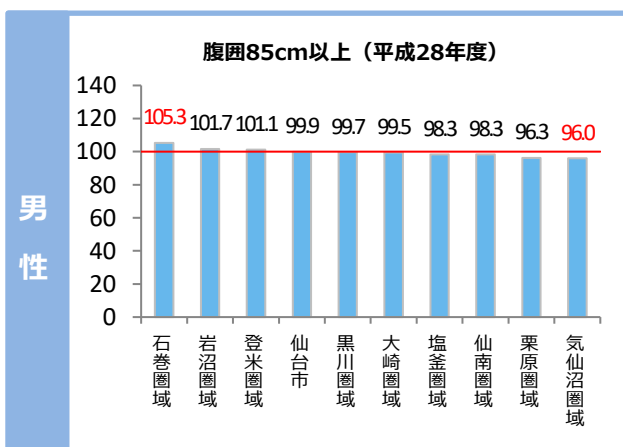
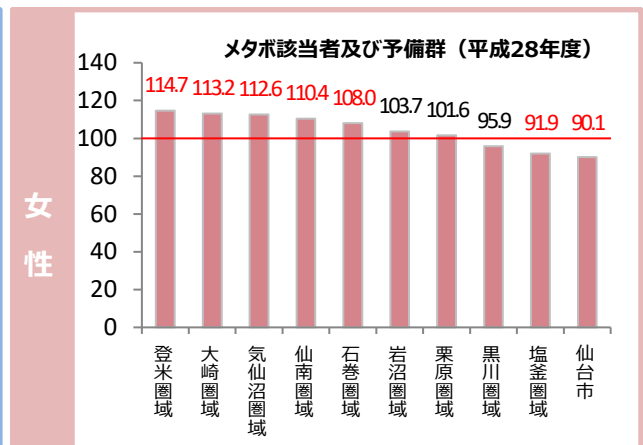
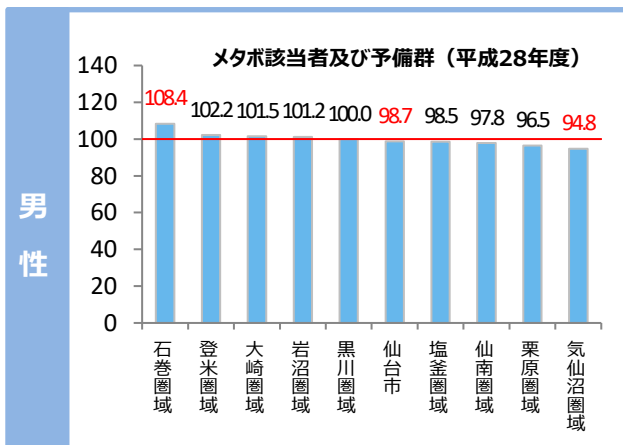
メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合の推移



資料) 特定健診・特定保健指導に関するデータ (厚生労働省)

特定健診有所見者の状況

【圏域別の状況】(標準化該当比 市町村国保 受診者約11万7千人 協会けんぽ 受診者約17万人の状況) ※県=100

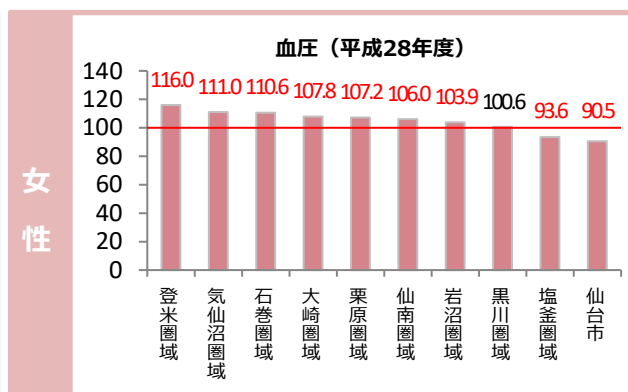
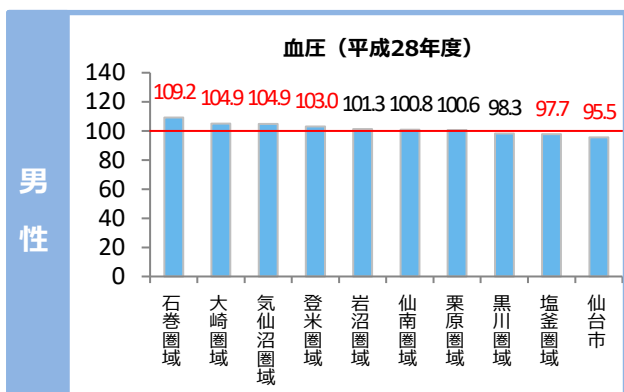
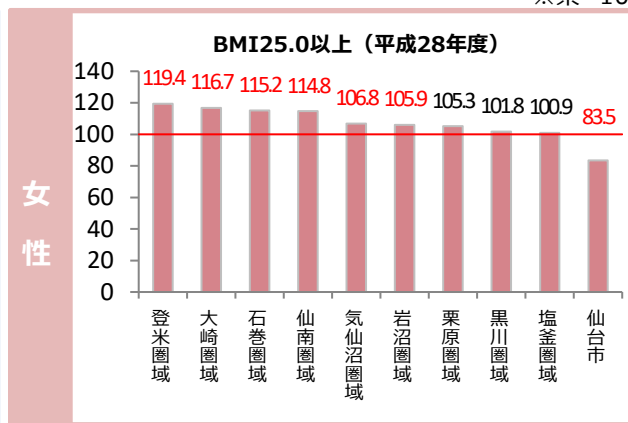
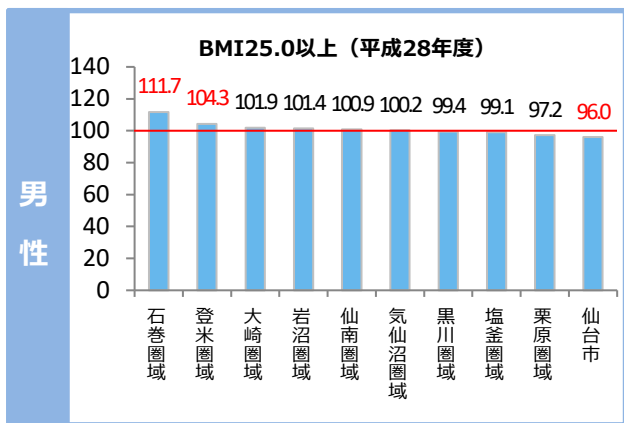


※赤字は有意であることを示しています。

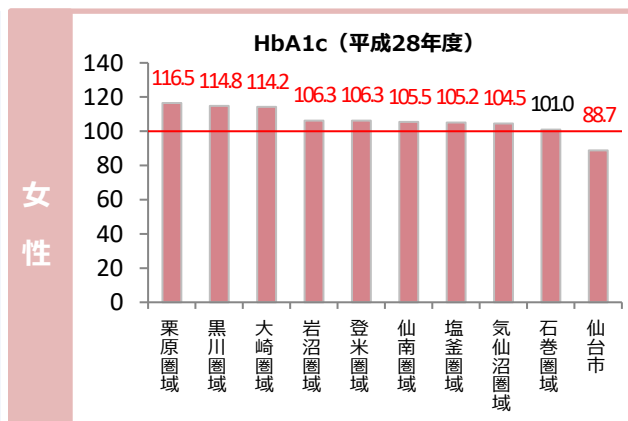
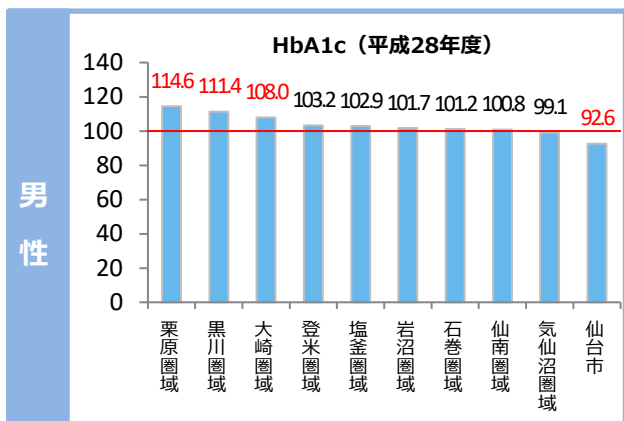
資料) 平成28年度 市町村国保、協会けんぽ 男女別特定健診有所見者の状況 (40-69歳)

■標準化該当比とは

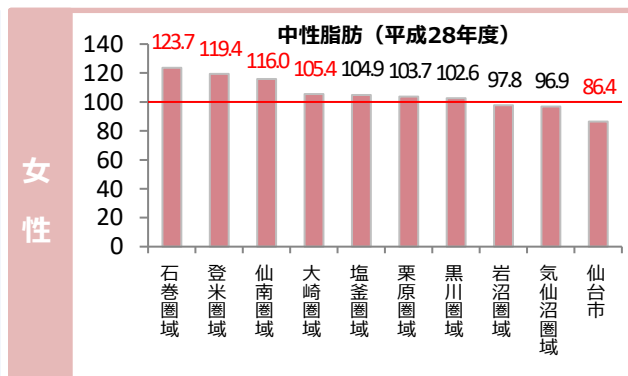
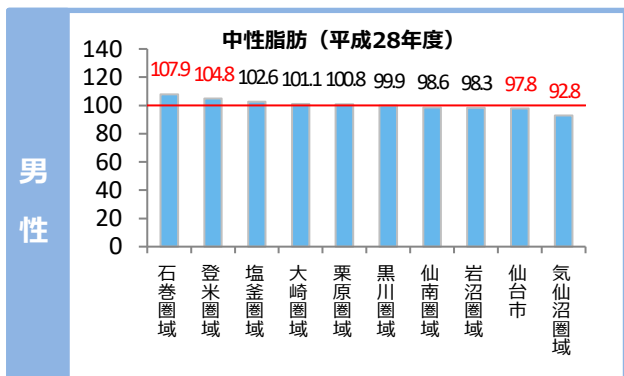
特定健診受診者の性別年齢構成は保険者により異なります。そのため年齢構成による差を取り除き、市町村間比較するために、県を100として相対値で表したものを、標準化該当比が100より大きい場合は、県平均と比べて出現割合が高いことを示しています。



基準値 収縮期血圧130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上



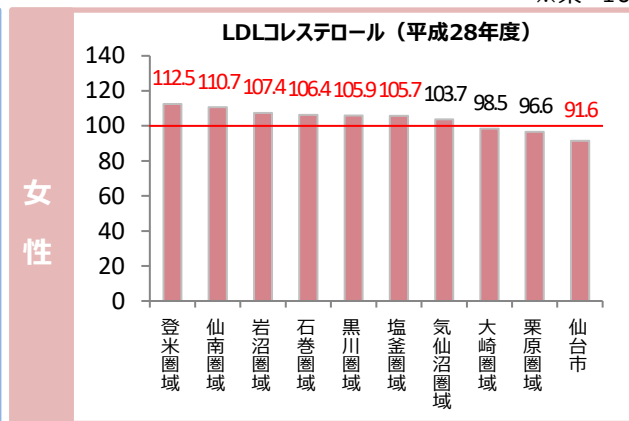
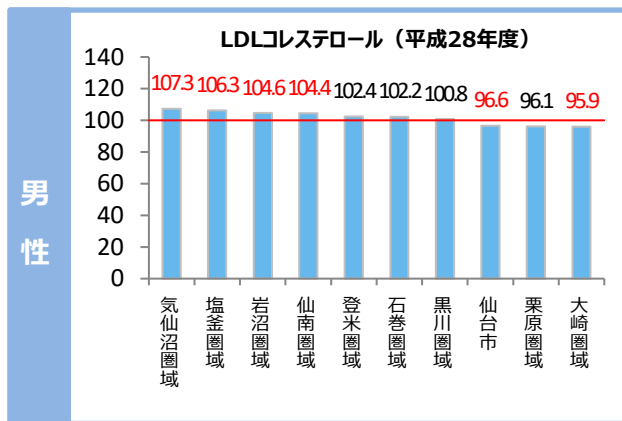
基準値 5.6%以上



基準値 150mg/dl以上

※赤字は有意であることを示しています。

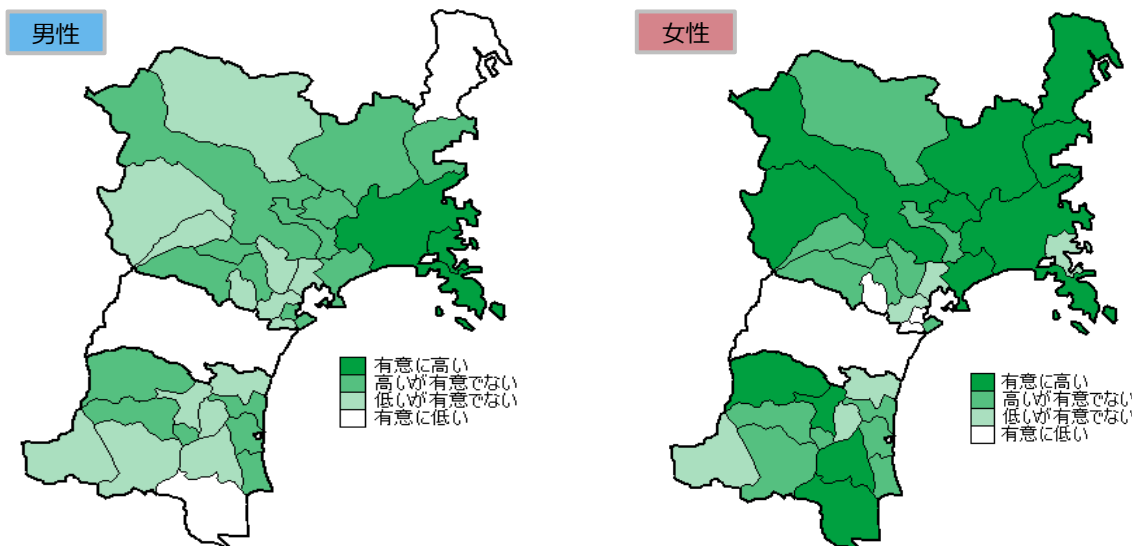
※県=100



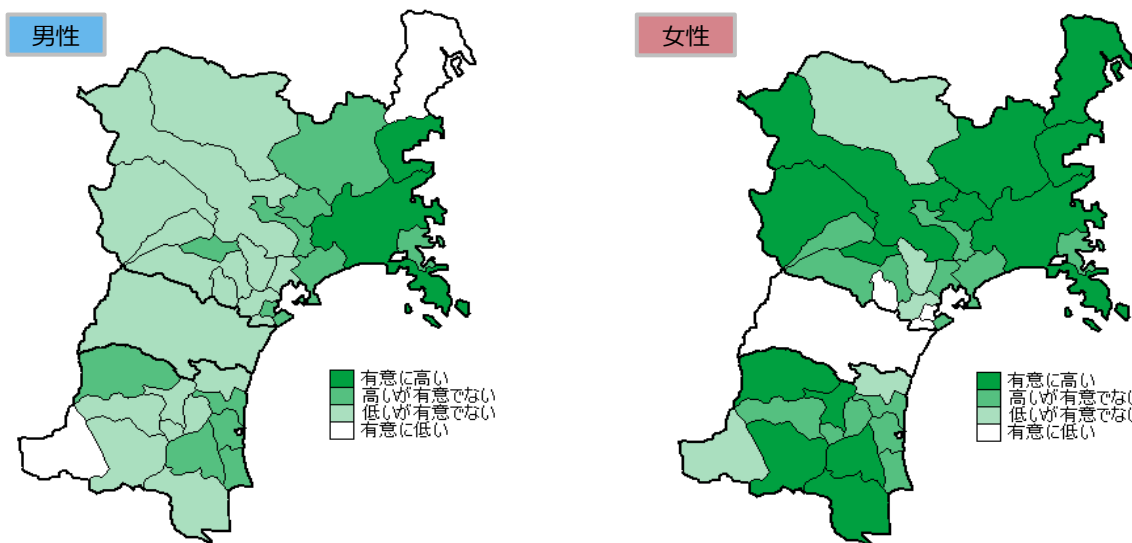
基準値 140mg/dl以上

【市町村別の状況】標準化該当比（市町村国保 受診者約11万7千人 協会けんぽ 受診者約17万人の状況）

メタボリックシンドローム該当者及び予備群（平成28年度）

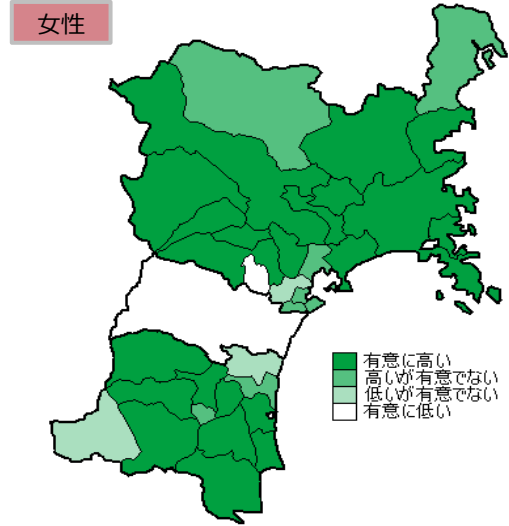
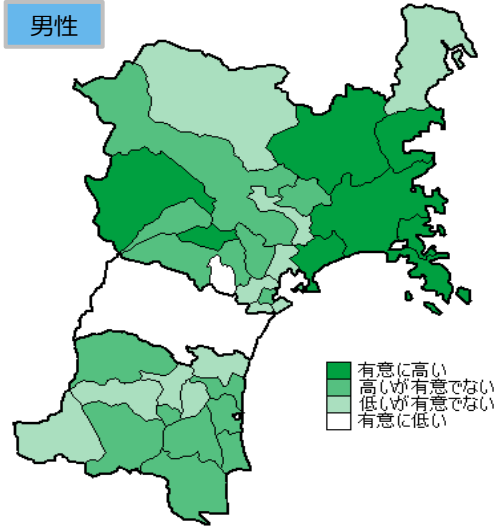


腹囲 男性：85cm以上，女性90cm以上（平成28年度）

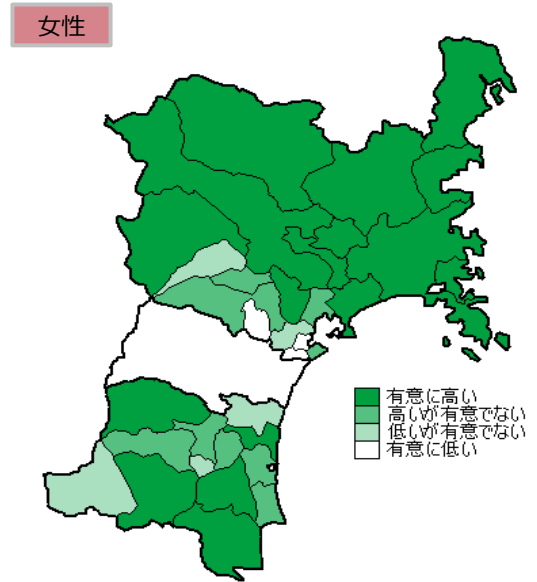
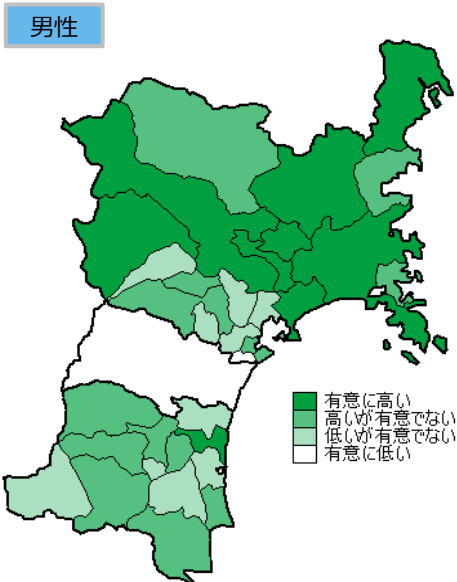


「有意に高い」 標準化該当比 > 100かつ信頼区間の下限 > 100 「高いが有意でない」 標準化該当比 > 100かつ信頼区間の下限 ≤ 100
 「有意に低い」 標準化該当比 < 100かつ信頼区間の上限 < 100 「低いが有意でない」 標準化該当比 < 100かつ信頼区間の下限 ≥ 100
 資料）平成28年度 市町村国保，協会けんぽ 男女別特定健診有所見者の状況（40-69歳）

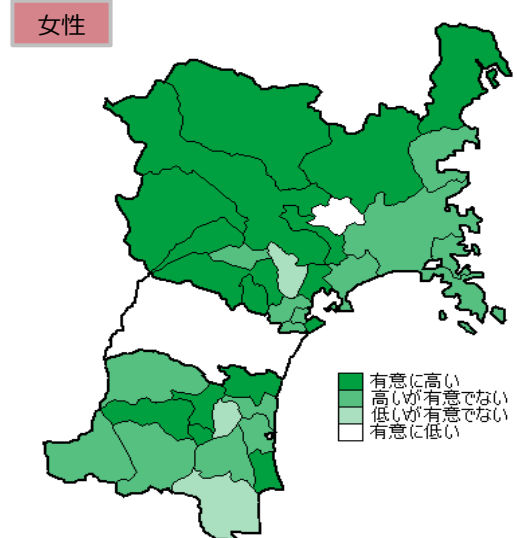
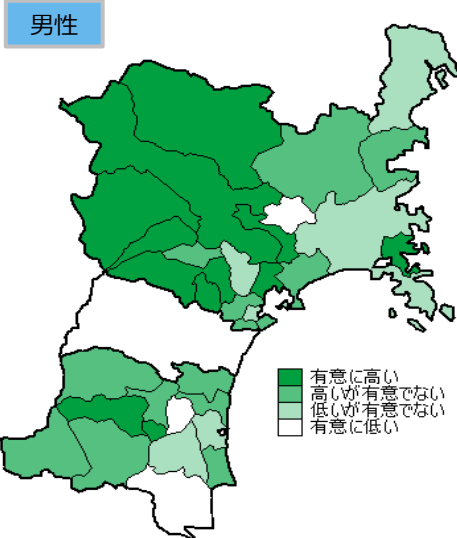
BMI25.0以上（平成28年度）



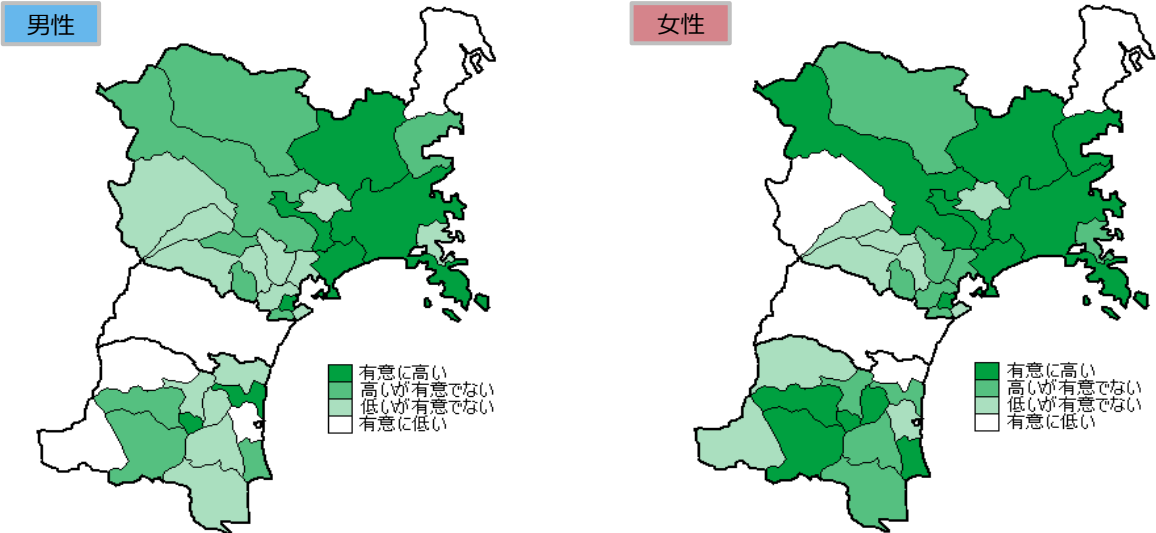
収縮期血圧130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上（平成28年度）



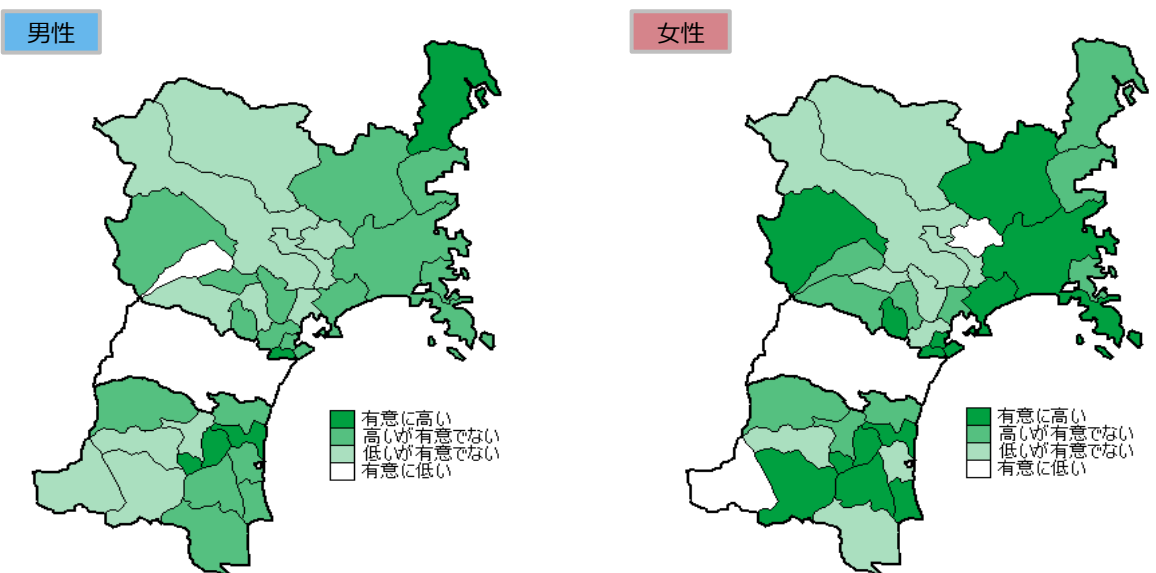
HbA1c 5.6%以上（平成28年度）



中性脂肪150mg/dl以上（平成28年度）



LDLコレステロール 140mg/dl以上（平成28年度）



特定健診に係る圏域別のグラフや市町村別マップは、宮城県国民健康保険団体連合会（国保連、市町村国保）及び全国健康保険協会宮城支部（協会けんぽ）にデータを提供頂き、合算の上、標準化該当比を算出しています。（市町村国保 40-69歳受診者約11万7千人 協会けんぽ 40-69歳受診者約17万人の状況）

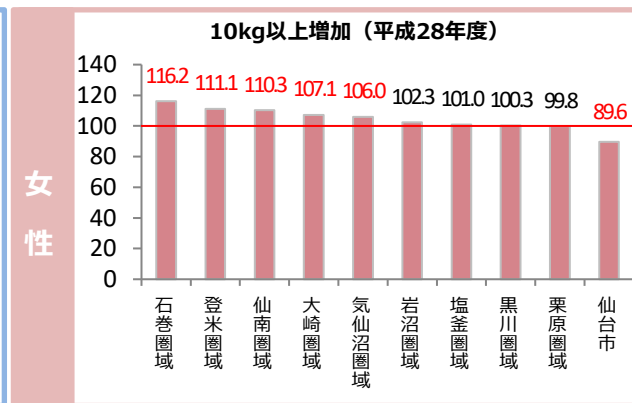
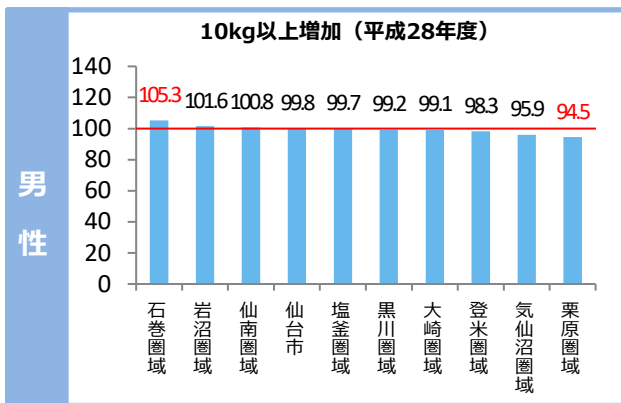
（参考）
特定健診受診者数（40-74歳）の状況

保険者名	特定健診対象者数(人)	特定健診受診者数(人)	特定健診受診率(%)
宮城県国民健康保険団体連合会	356,627	168,635	47.3
全国健康保険協会宮城支部	303,305	174,409	57.5

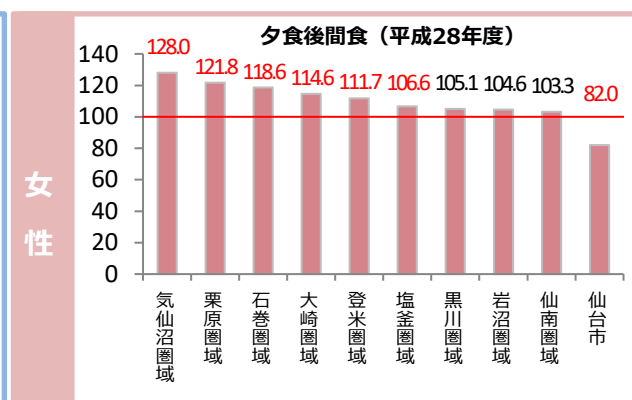
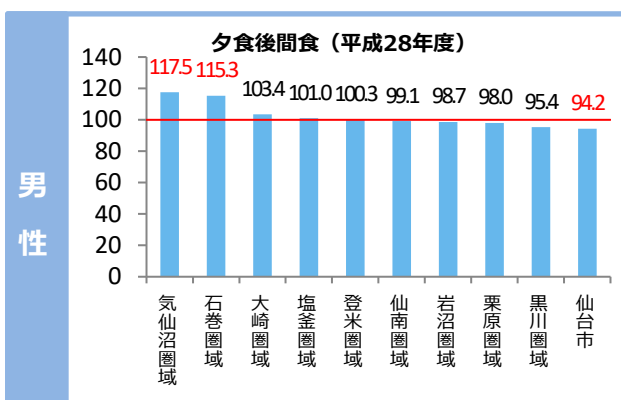
資料）平成28年度 市町村国保、協会けんぽ 特定健診・保健指導実施状況（40-74歳）

生活習慣の状況—特定健診質問票より—

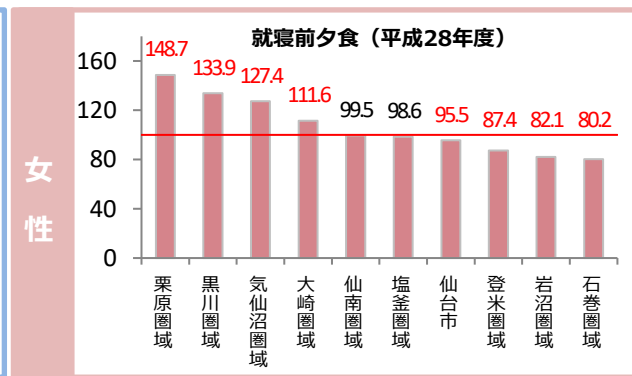
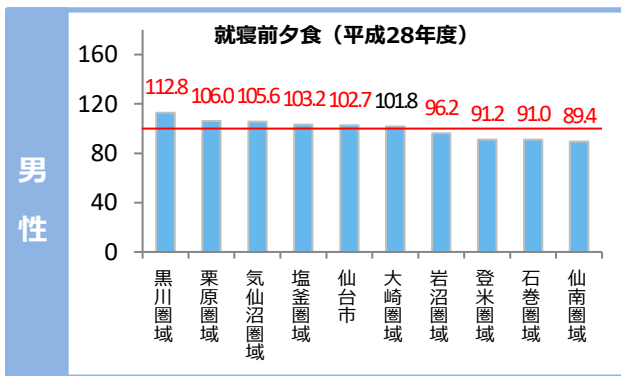
【圏域別の状況】（標準化該当比 市町村国保 受診者約11万7千人 協会けんぽ 受診者約17万人の状況）



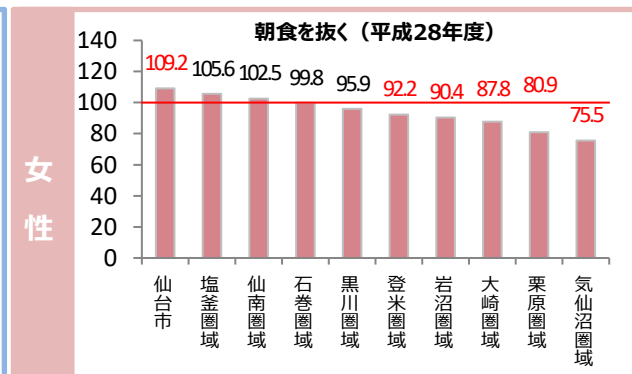
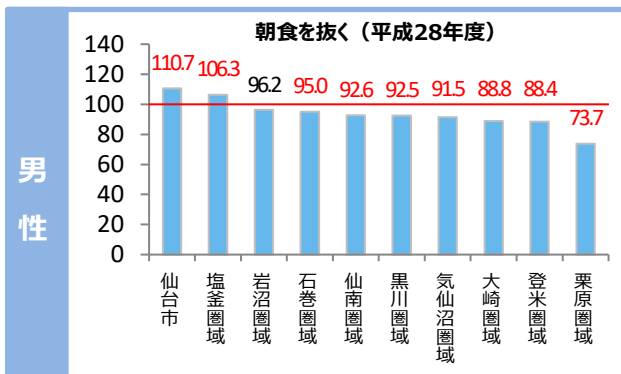
質問項目 20歳の時の体重から10kg以上増加している・・・「はい」と回答



質問項目 夕食後に間食をとることが週に3回以上ある・・・「はい」と回答



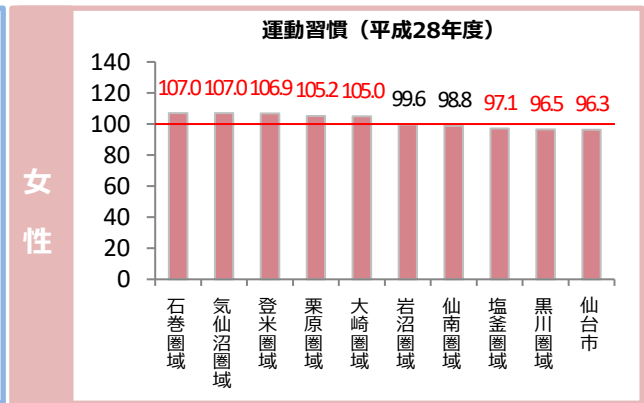
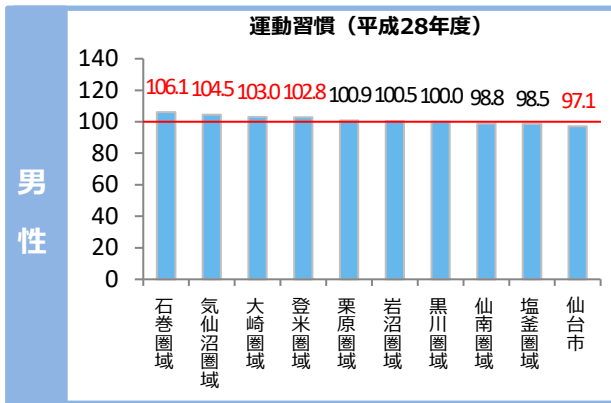
質問項目 就寝前2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある・・・「はい」と回答



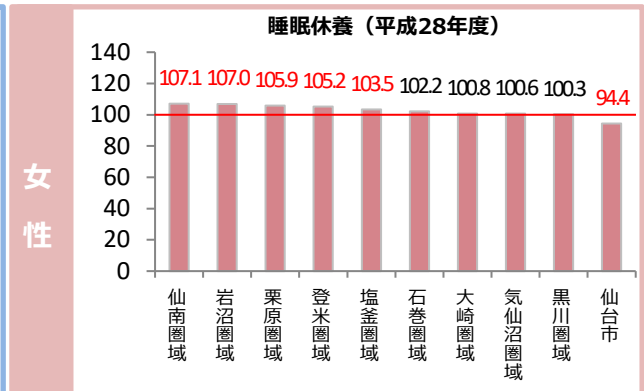
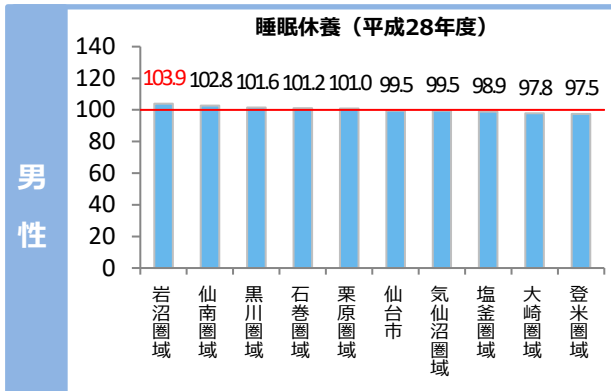
質問項目 朝食を抜くことが週に3回以上ある・・・「はい」と回答

※赤字は有意であることを示しています。

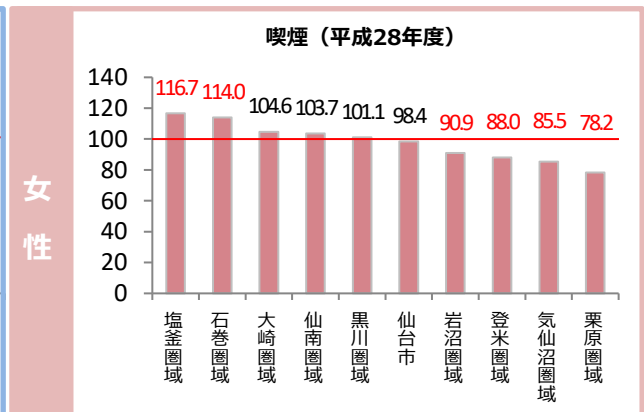
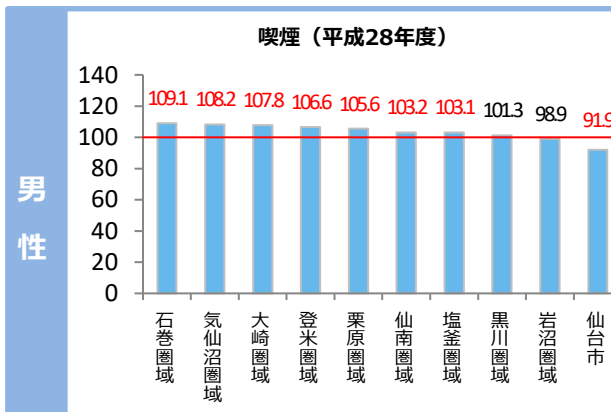
資料）平成28年度 市町村国保、協会けんぽ 男女別特定健診質問票の状況（40-69歳）



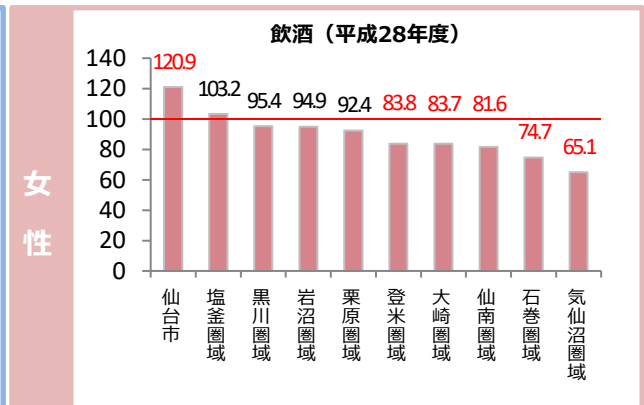
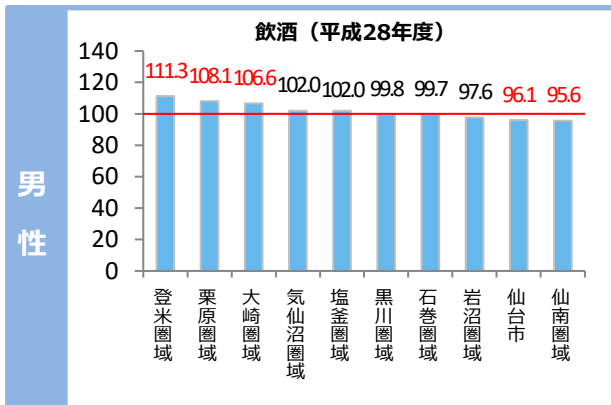
質問項目 1回30分以上の軽く汗をかく運動を週に2回以上、1年以上実施している・・・「いい」と回答



質問項目 睡眠で休養が十分とれている・・・「いい」と回答



質問項目 現在、たばこを習慣的に吸っている・・・「はい」と回答



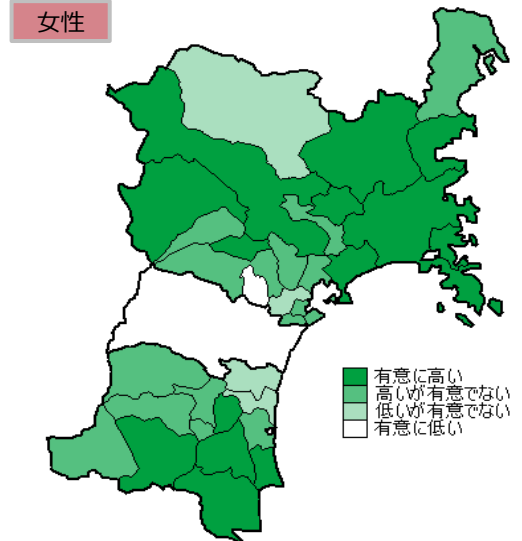
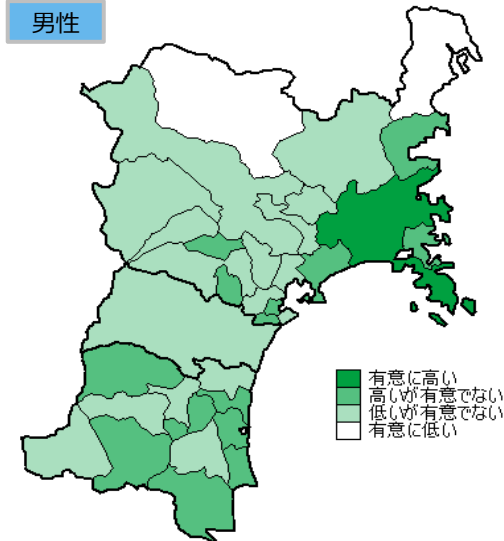
質問項目 お酒を毎日飲む・・・「はい」と回答

※赤字は有意であることを示しています。

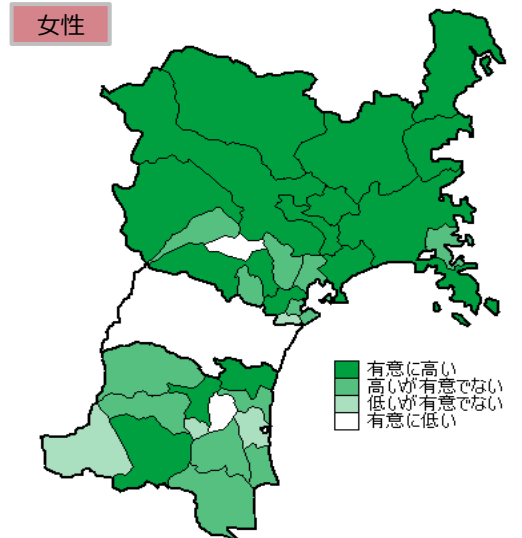
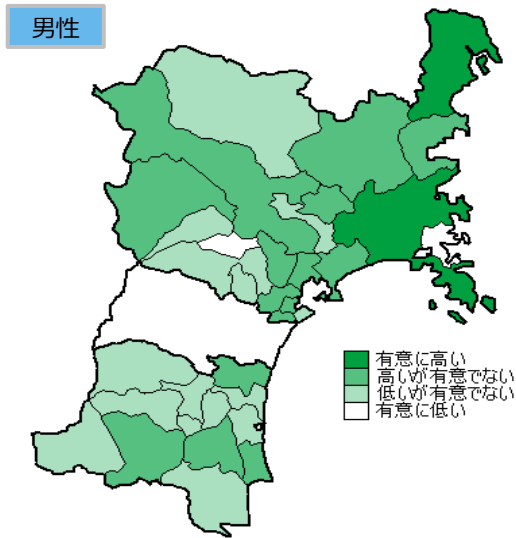
資料）平成28年度 市町村国保、協会けんぽ 男女別特定健診質問票の状況（40-69歳）

【市町村別の状況】標準化該当比（市町村国保 受診者約11万7千人 協会けんぽ 受診者約17万人の状況）

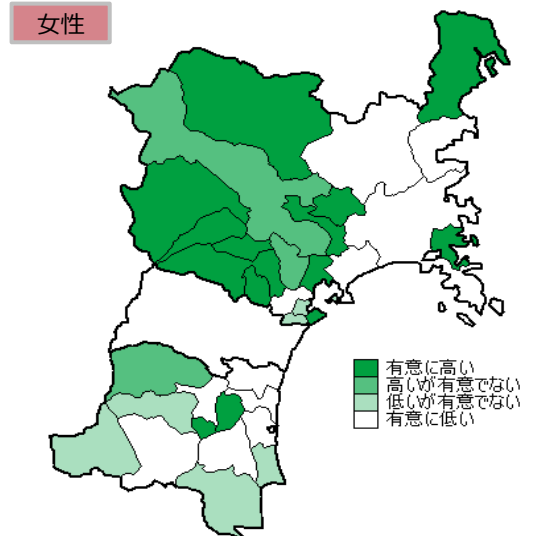
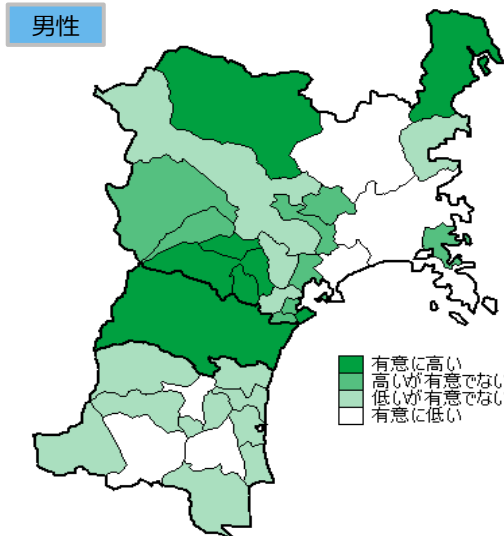
20歳の時の体重から10kg以上増加している（平成28年度）



夕食後に間食をとることが週に3回以上ある（平成28年度）



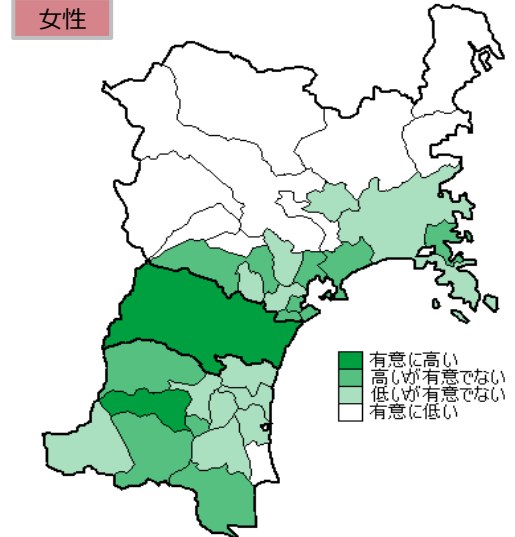
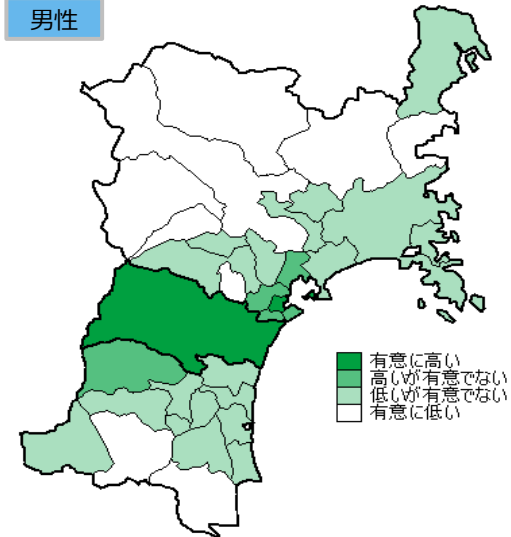
就寝前2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある（平成28年度）



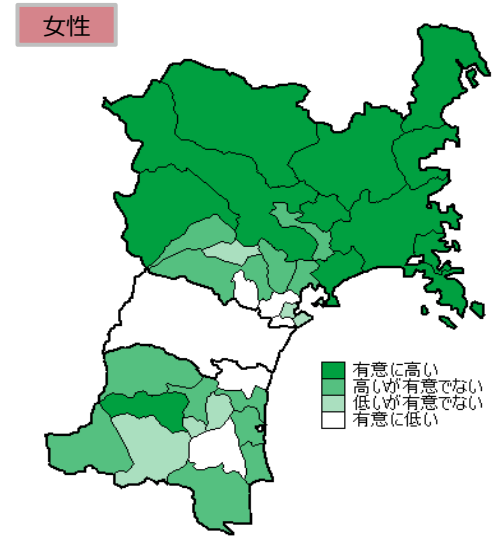
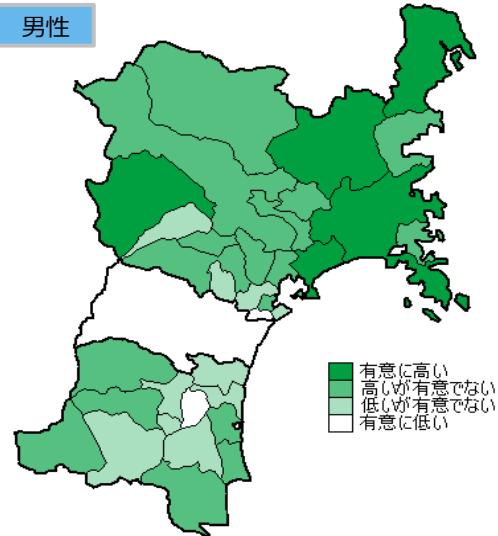
「有意に高い」標準化該当比>100かつ信頼区間の下限>100 「高いが有意ではない」標準化該当比>100かつ信頼区間の下限≤100
「有意に低い」標準化該当比<100かつ信頼区間の上限<100 「低いが有意ではない」標準化該当比<100かつ信頼区間の下限≥100

資料）平成28年度 市町村国保、協会けんぽ 男女別特定健診質問票の状況（40-69歳）

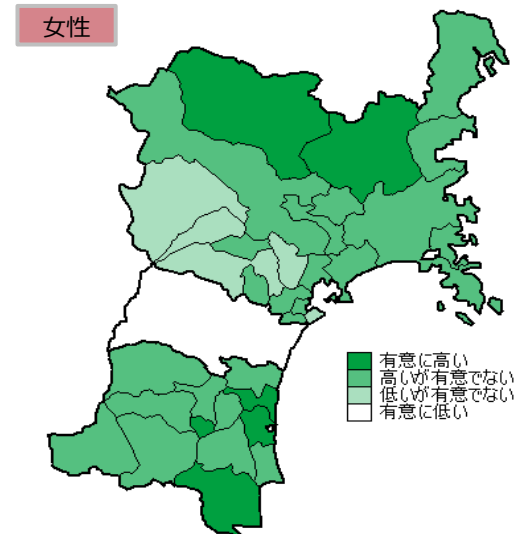
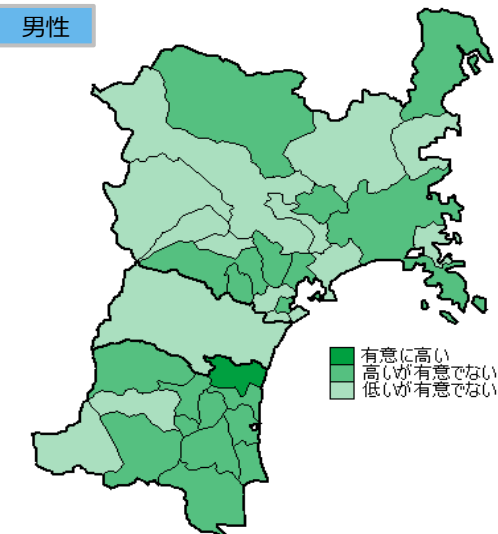
朝食を抜くことが週に3回以上ある（平成28年度）



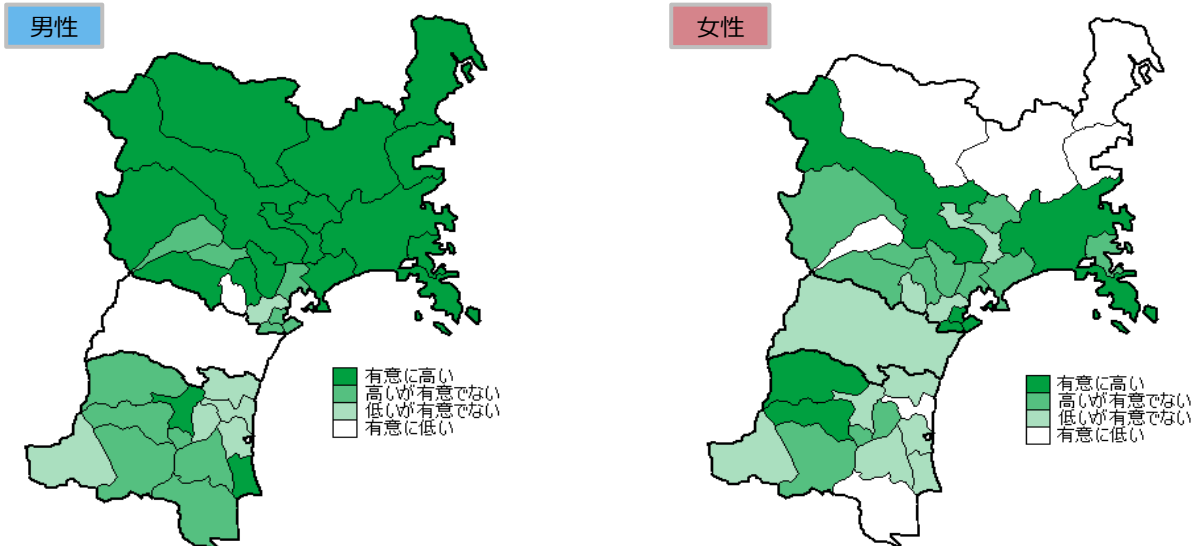
1回30分以上の軽く汗をかく運動を週に2回以上、1年以上実施していない（平成28年度）



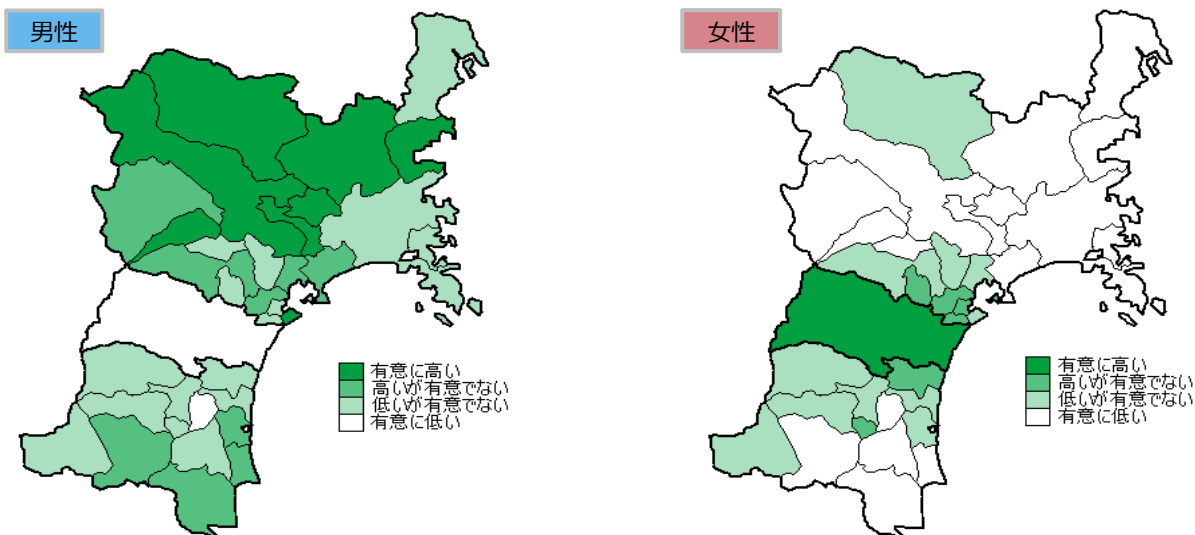
睡眠で休養が十分とれていない（平成28年度）



現在、たばこを習慣的に吸っている（平成28年度）



お酒を毎日飲む（平成28年度）



特定健診に係る圏域別のグラフや市町村別マップは、宮城県国民健康保険団体連合会（国保連、市町村国保）及び全国健康保険協会宮城支部（協会けんぽ）にデータを提供頂き、合算の上、標準化該当比を算出しています。（市町村国保 40-69歳受診者約11万7千人 協会けんぽ 40-69歳受診者約17万人の状況）

肥満と生活習慣の関連性—平成28年県民健康・栄養調査より—

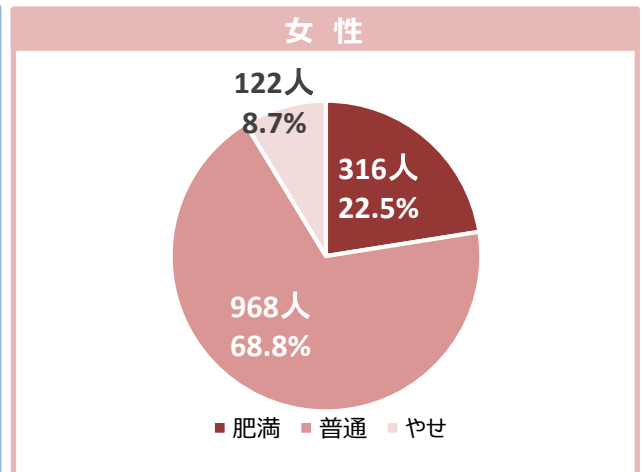
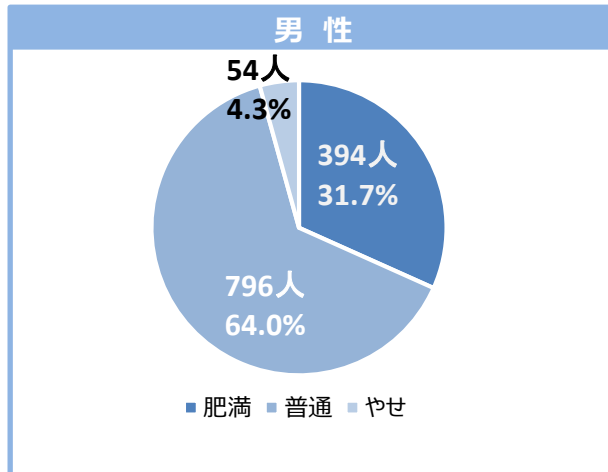
県では、県民の健康づくりに関する意識や食生活、運動等に関する実態を把握し、今後の県の健康づくり施策に反映するために平成28年10～11月に県民健康・栄養調査を実施しました。

今回、この調査結果から肥満と生活習慣の関連性について分析しました。

調査対象者の肥満者の割合

○男性において31.7%、女性において22.5%が肥満だった。

※BMI25.0以上を「肥満」、18.5以上25.0未満を「普通」、18.5未満を「やせ」とする。

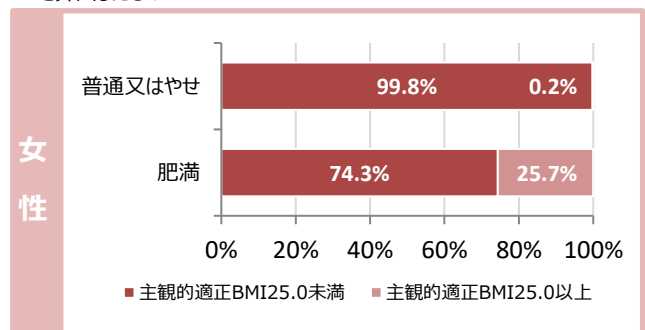
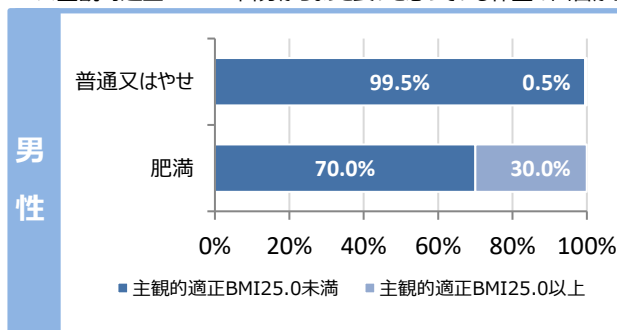


【肥満と関連の強い生活習慣】

肥満と主観的適正BMIの関連

○「肥満」の者はちょうど良いと思っている体重を「普通又はやせ」の者より高めに回答した割合が高い。

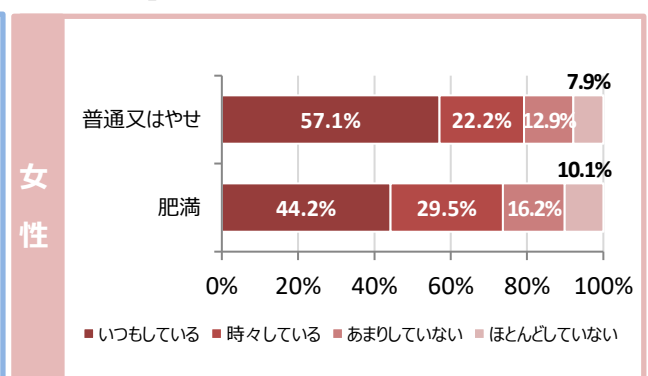
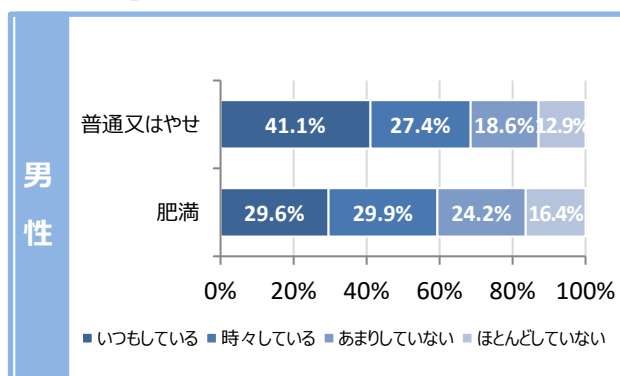
※主観的適正BMI・・・自分がちょうど良いと思っている体重の回答からBMIを算出したもの



資料) 平成28年 県民健康・栄養調査より算出

肥満と生活活動の関係

○「肥満」の者は身体をよく動かしていると回答した者が「普通又はやせ」の者と比較して少ない。



資料) 平成28年 県民健康・栄養調査より算出

問) 普段の生活で歩行, そうじ, 階段の上り下り, 子どもと遊ぶなど 身体を動かしているか



- 平成30年度版 -

データからみたみやぎの健康 概要版

平成31年3月



宮城県保健福祉部健康推進課食育・栄養班
 〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町3-8-1
 TEL 022-211-2637
 FAX 022-211-2697
 Email kensui-s@pref.miyagi.lg.jp